

アル・アクサ洪水第492日目：エジプトとサウジアラビア、会談を延期したネタニヤフ首相の扇動を非難

Palestine Chronicle、 2025年2月9日、協浜義明訳 *脚注は訳注



ヨルダン川西岸の占領地区では、パレスチナ人家族が家を追われている。(Photo: QNN)

主要事項

*イスラエル軍はネツァリム回廊から引き揚げ始めたが、後に大きな破壊を残した。撤退は今日中に完了する模様。

*エジプト外務省はパレスチナに関するイスラエル軍の展開を協議するために2月27日に緊急アラブ首脳会議のホスト役を務めると発表した。

*ガザ・ジェノサイドの死亡者は62,403人、負傷者は111,638人。

最新情報

2月10日 7:54am (パレスチナ時間)

*SNS：2月9日、ルイジアナ州ニューオーリンズで開催されたアメリカン・フットボール選手権であるスーパーボールのハーフタイムショーのときに、一人の活動家がパレスチナの旗とスーダンの旗を掲げたが、しばらくして警備員に止められた。警備員は活動家に飛びかかり、殴り倒し、スタジアムの外へ引きずりだした。旗には「スーダン」と「ガザ」という文字が書かれていた。

2月10日 7:41am

*エジプト外務省：我々は、ガザへの侵攻が始まって以来エジプトが行ってきた努力と矛盾する誤解を招きかねない情報などを含む、ネタニヤフの声明を厳しく非難する。ネタニヤフ声明はパレスチナ民間人や市民的インフラに対してイスラエルが行ってきたひどい暴力を隠ぺいするものである。我々はパレスチナ人をエジプト、ヨルダン、サウジアラビアへ移住させる声明を断固拒否する。我々は、ガザの地にしがみついて、自分たちの正しい当然の権利を守る勇敢なガザのパレスチナ人に連帯する。

2月10日 3:15am

*トランプ米大統領：私は米国がガザを購入して所有する公約をする。そしてガザの一部を中東の国に与えて再建させることも考えている。私はガザを将来の発展の場とするであろう。そのためにムハンマド・ビン・サルマーン（サウジアラビアの王子）やシーシ（エジプト大統領）と会うつもりだ。私の話を聞いたら中東の国々はパレスチナ人の移住を受け入れるであろう。我々は中東の豊かな国を通じてガザを再建する。ガザは無視できない最高級の不動産の土地だ。

*イエディオト・アハロト：ネタニヤフ首相は、明日の閣議で合意の第二段階におけるイスラエル側の要求提出に関して了承を取り付けるつもりである。ハマスは第二段階におけるイスラエルの要求を受け入れないだろうと予測される。その要求とは、ハマス指導部のガザからの立ち退き、ハマスの武装解除、残る人質全員の解放である。ハマスがこの要求を受け入れれば、イスラエル側のガザ戦争が終わることになる。ネタニヤフはこの第二段階の内容をトランプと彼の中東特使との協議で決定した。ハマスがこの要求を拒否すると分かっているので、イスラエルは第一段階の合意内容の実施をできるだけ延長している。停戦を延長して人質をできるだけ多く解放させようとしているのである。

*チャンネル12：ネタニヤフ政府は10月7日事件に関する調査委員会の設立決定を3か月先へと引き伸ばした。

2月10日 3:11am

*ハマス政治局員アイザト・アル・リシュク：我々はトランプの「ガザを購入して所有する」という声明を糾弾する。まったく馬鹿げた声明で、パレスチナと中東地域への無知を表している。ガザは売買できる不動産ではない。ガザはイスラエルに占領されているパレスチナの固有の領土だ。パレスチナの大義を不動産取引メンタリティで扱うのは確実に失敗するレシピだ。我々パレスチナ人はいかなる形の移住や追放の策略を挫折させるであろう。ガザはガザに住む人民のものであり、人民がガザを出るのは1948年にイスラエルによって奪われた町や村に帰還するときだけである。

*パレスチナ・メディア：西岸地区トゥーバの南の町タムーンをブルドーザーを伴ったイスラエル軍用車が襲った。西岸地区ナブルスの東の町ベイト・フーリクをイスラエル占領軍が襲った。西岸地区ジェニンの西の町シラット・アル・ハリティヤをイスラエル占領軍が襲い、若者を数人逮捕した。

2月10日 12:20am

*アル・ジャジーラ：情報筋によれば、西岸地区ジェニンの西の町シラット・アル・ハリティヤをイスラエル占領軍が襲ったとき、レジスタンス戦士たちと戦闘になった。

*アル・カッサム旅団：我々は西岸地区トゥルカルムのヌール・シャムス難民キャンプでイスラエルの敵兵との接近戦で殉死したリヤス・アドリ・アル・アフラスを悼む。イスラエル占領軍は西岸地区の通りや路地に仕掛けられた死の罠に嵌るであろう。

2月9日 11:30pm

*パレスチナ赤三日月社：占領地西岸地区のトゥルカルムのヌール・シャムス難民キャンプでイスラエル占領軍との間の銃撃戦でパレスチナ人一人が殉死した。

*トルコ大統領エルドアン：ガザではイスラエルが停戦違反を続けている。我々はパレスチナ人を彼らの土地から追放する呼びかけを拒否する。米国のガザに関する提案はシオニストの圧力のもとでなされたもので、議論する価値はない。誰にもガザの人々を強制移動させることはできない。

*リクト党閣僚からネタニヤフへの手紙（チャンネル14で報道）：やがて起きる虐殺を防ぐために西岸地区をイスラエル主権下に置くべきだ。もう西岸地区をイスラエル領としてもよい時だ。西岸地区をイスラエル国主権領にすることは国の心臓部でのテロリスト国家の樹立を防ぐためだ。

*カン：イスラエル交渉団は合意の第一段階を協議する権限はあるが、ネタニヤフの反対のために第二段階の協議はできない。第二段階交渉開始は2日後に予定されている小治安対策閣議次第である。

2月9日 9:06pm

*アル・ジャジーラ（次期駐イスラエル大使マイク・ハッカビーの言葉）：トランプ政権のもとで我々は途方もない規模の大変革を中東で行うだろう。一つははっきりしているのはハマスの生き残りがいないということで、そんなことはイスラエルとの協議で解決済みである。

*アル・ジャジーラ：ガザの国連人道問題調整事務所（OCHA）の報道官は50万人以上の人々が公共サービスが壊滅したガザ北部へ帰還したと発表した。

*マカン¹（ベザレル・スモトリッチ財務大臣の言葉を報道）：「交渉を続けることはハマスの権力を認めることで、そんなことは容認できない。トランプの計画はハマスを壊滅し、パレスチナ人をガザから強制移住させることで、これこそが人道的解決だ。我々は捕虜交換合意で政治的妥協をするべきではない。」

*OCHA 事務次長トム・フレッチャー（アル・ジャジーラの取材で）：ガザには緊急の食料と医薬品の援助が必要だ。テント数万個を北部に帰る住民に至急提供すべきだ。

*チャンネル12（西岸地区師団の将校の言葉）：我々は西岸地区北部の各難民キャンプのインフラ設備をもっと攻撃して破壊する用意をしている。我々は西岸地区に仕掛けられたブービートラップや難民キャンプ内の軍事的インフラを見つけて破壊する軍事行動を行っている。これまでに見つけて破壊した最大の軍事施設はジェニン難民キャンプのものだった。

2月9日 6:34 pm

*アル・クッズ旅団トゥルカレム大隊：我々は、アル・クッズ旅団といっしょに、ヌール・シャムス難民キャンプのマンシヤ地区でイスラエル軍を攻撃し、死傷者を出した。我々はヌール・シャムス難民キャンプで他の党派の戦士といっしょに占領軍と戦闘し、成果を確認した。

*CBS：米国での世論調査では、米国のガザ管理をよくないと思う人は47%で、よいと思う人は13%であった。トランプのイスラエルとハマスの紛争の停戦に賛成する人は54%であった。

*イスラエル軍ラジオ放送：米国中央軍司令官マイケル・クリラは初めてガザを訪問する予定であった。この訪問はあらかじめ計画されたもので、ガザ戦争開始後米軍高官のガザ訪問としては初めてである。しかし、クリラ將軍はガザ訪問を取りやめ、代わってテルアビブでイスラエルの国防大臣と会った。

*ハマスの報道官アル・カヌー：ガザはガザ人民と戦士によって解放された。ガザは侵入者と外国軍が入ってはならない地である。イスラエル占領軍のネツァリム回廊からの撤退は勇気あるレジスタンスとパレスチナ人民のスムード（忍耐、粘り）の結果である。シオニスト軍は、停戦条件に違反して、相変わらず人道的議定の実行を妨害、特にテント、燃料、重機の搬入を妨害している。占領者が15か月間の虐殺行為で実現できなかったことを、米国のトランプが不動産取引戦術で実現できるはずがない。

*アル・クッズ旅団トゥルカレム大隊：我々はヌール・シャムス難民キャンプで敵の10人から成る歩兵部隊がマンシヤ地区の民家を占拠して陣地を作ろうとするのを阻止した。接近戦で銃撃戦を展開、敵に損傷を与えた。我々は敵の増援部隊との戦闘を続けている。

2月9日 3:37 pm

*カン：イスラエル交渉団が合意の第二段階に関連した技術的問題を協議するためにドーハに到着した。第二段階のハマスの交渉は、ネタニヤフ政府の崩壊になる可能性を含んでいる。

*チャンネル14：ネツァリム回廊からの占領軍の撤退はハマスが統治力を取り戻すことを意味し、戦争の成果を失うことになる。

*ガザ政府メディア・オフィス：イスラエル占領軍はジェノサイド戦争でガザの生活をすっかり破壊した。今朝から我々は瓦礫と穴ぼこだらけの道路を整備して人が通れるようにしている。しかし、何もかも欠乏しているので、停戦の人道的議定書に書かれた機材や燃料の搬入を望む。イスラエル占領軍はガザの34の病院を破壊したので、我々は医療施設の再建に懸命である。

*イエディオト・アハロノト：第二段階で解放される予定の2人の人質の家族はハマスの捕虜交換取引の全容を法に基づいて公開することを要求している。

*アル・ジャジーラ：トゥルカレム東のヌール・シャムス難民キャンプでの占領軍の攻撃で2人目の女性が死亡したと医療筋が発表。

*アル・ジャジーラ：アル・クッズ旅団トゥルカレム大隊は、イスラエルパトロール隊を地雷の罠にはめ、死傷させた。

¹ ディアスポラ・パレスチナ人が設立した教育・報道機関。

2月9日 12:53 pm

*アル・ジャジーラ：イスラエルの国民陣営の指導者ベニー・ガantzは、イスラエル政府は何人かの人質が「食べ物も衛生配慮もないひどい状態」で暮らしていることを知っているはずだと述べた。これは、昨日に解放された3人の人質の弱った健康状態にネタニヤフ首相が怒りを表明したことを受けて発言したものだ。

*アル・ジャジーラ：消息筋によると、トゥルカレムでイスラエル占領軍の銃撃で3人のパレスチナ人が負傷した。

*ブルームバーグ：ガザに従軍したイスラエル兵は外国で戦争犯罪で起訴される恐れがあるとブルームバーグに語った。

*メフル通信（イランの半官半民通信社）：イランのアッバス・アラフチ外務大臣は、パレスチナ問題の新展開を協議して何らかの決定をするために、イスラム協力機構（OIC）外相会議の緊急開催を呼びかけた。

*アル・ジャジーラ：情報筋によると、西岸地区トゥーバの南のアル・ファアラ難民キャンプでイスラエル占領軍が複数の世帯を家から追放してキャンプから離れさせた。

*アル・ジャジーラ：エジプト外務省はエジプト政府が2月27日に緊急アラブ首脳会議の開催国となって、パレスチナ問題の危険な展開を協議すると発表した。

*アル・ジャジーラ：パレスチナ保健省の発表によれば、西岸地区のヌール・シャムス難民キャンプでイスラエル占領軍の銃撃で、1人の妊婦が死亡し、彼女の夫が負傷した。

*イスラエル軍ラジオ放送：イスラエル軍のネツァリム回廊からの撤退が完了した。

*イスラエル・ハヨム：イスラエル軍は、ガザのネツァリム回廊からの撤退と同時に、西岸地区の軍事行動の一環としてトゥルカレムにあるヌール・シャムス難民キャンプへの軍事行動を強化した。

*タイムズ・オブ・イスラエル：イスラエル国防省高官は、昨日解放された人質の健康状態が悪いと怒ったネタニヤフ首相を批判した。

*チャンネル12：チャンネル12は国防省の高官は人質の健康状態について発言したネタニヤフ首相に関して、「首相は何を期待していたのだ？なにも驚くことではない。首相は人質に関する情報と健康状態に関する医学的意見を聞いてなかったのか？」との発言を報道した。

*ガザ内務省：イスラエル軍のネツァリム回廊からの撤退が始まってからのサラハ・アッディーン通りとアル・ラシド通りの交通機構は変わっていない。我々は安全のために現在の交通機構に従い、用心するように市民に呼びかけている。アル・ラシド通りは歩行者に、サラハ・アッディーン通りは自動車を通ることになっており、通る前には検査を受けなければならない。

*アル・ジャジーラ：アル・クツ旅団トゥルカレム大隊はヌール・シャムス難民キャンプで軍ブルドーザーに仕掛けてあった爆弾を破裂させて、敵に損傷を与えたと発表した。さらに、旅団はヌール・シャムス難民キャンプでイスラエル占領軍と銃と爆弾で戦闘をしたと発表。

*イスラエル・ハヨム：ネタニヤフ首相に近い情報筋によると、イスラエル交渉団は第二段階ではなく、第一段階の引き延ばしを、仲介国と話し合い始めた。

*カン：イスラエル軍はガザのネツァリム回廊からの撤退を開始、今日中に完了する予定。

*アル・ジャジーラ：サウジアラビア外務省はパレスチナ人を移住させるというネタニヤフの声明を強く非難し、そのような声明はイスラエルが現在ガザで行っている犯罪から世界の目をそらすことを狙っていると付言した。さらに、サウジアラビアは国際社会がネタニヤフのパレスチナ人強制移転発言を非難し拒否する姿勢を歓迎すると言った。恒久的な平和は二国家解決案による平和共存原則を受け入れることによってのみ達成できると言った。